

もっと安心農産物 **ダイコン（冬どり）栽培暦（令和6年度）**

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

1. 土づくり
・完熟堆肥2トン／10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする
2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量4. 5kg／10a以下**
基肥は①～③のいずれかを選択する。

	肥料名	施肥量
基肥	①エコレット866 (8-6-6 有機態窒素 4. 1)	110kg／10a以下
	②マイルドユーキ030 (10-13-10 有機態窒素5.3)	90kg／10a以下
	③有機アグレット088 (10-8-8 有機態窒素5)	90kg／10a以下
	④ちばみどり有機888 (8-8-8 有機態窒素 1.2)	60kg／10a以下
	苦土重焼燐 (0-35-0)	40kg／10a
	硫マグ	40kg／10a

3. 防除 **化学合成農薬 5成分回数まで**
(Zボルドー・スピノエース顆粒水和剤・エスマルクDFは化学合成農薬に含めない)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈 倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施)
8月 上旬		(ネキリムシ) (白さび病) (ハイマダラノメイガ・キスジノハミムシ) (ヨトウムシ) (軟腐病)					
中旬			①ネマトリン エース粒剤	15～25kg/10a (播種前)	1回	ネグサレ センチュウ	
下旬			②カルホス 微粒剤F	6kg/10a 播種時～生育 初期(但し、収 穫30日前)	1回	ネキリムシ類	
9月 上旬	は種		③フォース粒剤	6～9kg／10a (播種時)	1回	キスジノ ミハムシ	アブラムシ等の防除のため圃場周辺の除草をする
中旬			④モスピラン 顆粒水溶剤	2000倍 (収穫14日前)	1回	コナガ	
				2000～ 4000倍 (収穫14日前)		アブラムシ 類	
下旬	間引き		Zボルドー	500倍	—	黒斑細菌病 白さび病	台風等の強風雨がある場合は軟腐病防除の為、 ⑧カスミンボルドー 1000倍 (収穫14日前・3回)又は ⑨スターナ水和剤 1000倍 (収穫14日前・5回)を散布する 又はグレーシア乳剤 2000～3000倍 (収穫7日前まで2回以内)
			エスマルクDF	1000倍発生初期(但し、収穫前日まで)	—	コナガ ヨトウムシ ハイマダラ ノメイガ	
10月 上旬			⑤アフーム乳剤	1000～ 2000倍 (収穫7日前)	3回	コナガ アオムシ	
			⑥ハチハチ 乳剤	2000倍 (収穫30日前)	1回	キスジノ ミハムシ アブラムシ類 ハイマダラ ノメイガ	
中旬			⑦フェニックス 顆粒水和剤	2000～ 4000倍 (収穫7日前)	2回	ハイマダラノメイガ コナガ	
下旬			スピノエース 顆粒水和剤	2500～ 5000倍 (収穫7日前)	3回	コナガ アオムシ	
11月	収穫						
12月							

☆みんなで守ろう生産基準